

子ども・子育て

乳幼児

新 予防接種費用助成

子どもたちの命を守るため、新たに3種の予防接種費用の助成制度を創設。
・ロタウイルス予防接種(生後6週から32週までの乳児)
・おたふく風邪予防接種(1歳から小学校入学前までの幼児)
・B型肝炎予防接種(0歳から小学校入学前までの乳幼児)

新 第2子目の保育料減免

保護者の経済的負担を軽減するため、保育園に在園している第2子目(0歳~2歳)の保育料を減免。

新 片岡の里保育園増築への補助

待機児童対策として実施される園舎増築工事に対する補助。

新 黎明保育園の保育環境の充実

町土地開発公社所有用地を貸与し、保育面積を拡充。

幼児

新 幼稚園預かり保育

保護者の子育て支援のため、2学期から各幼稚園において教育時間終了時から16時まで預かり保育を実施。

英語力強化事業

各幼稚園での英語体験教育を充実。

新 幼稚園ガラス飛散防止(北幼稚園・南幼稚園)

窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付け、災害時など窓ガラスの破片の飛び散りを防止。

新 幼稚園の遊具を改修

幼稚園に設置されている遊具での事故を未然に防止するため、調査に基づき新設・改修。

新 南幼稚園に通園バスを導入

送り迎えの利便性の向上や負担軽減のため、今年4月から南幼稚園に通園バスを導入。

新 幼稚園のホームページを開設

各幼稚園の特色ある取り組みや園行事などを発信するため、ホームページを新たに開設。

小学生

新 学童保育の充実

各小学校で開所している学童保育の保育時間を18時まで拡充。(一部負担あり)
土曜日も、月1回→毎週開所。

英語力強化事業

小学5年生からだけでなく、各小学校で、小学1年生~4年生にも英語授業を実施。今年度から、さらに英語学習の時間を拡充。

小中学生

新 雪丸サポートスクール(寺子屋塾)

地域の経験豊富な人材を活用し、町内の小中学生の学力及び学習意欲の向上を図ることを目的に開設。(宿題、予習、復習や教材プリントによる学習)

新 十津川村体験活動

十津川村での民泊を中心とした農村体験と、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を散策する「十津川村体験活動」を実施。

新 校舎の非構造部材を耐震化

3小学校及び2中学校の非構造部材(天井、外・内装材、窓ガラス、家具、照明器具等)の耐震化をこの夏休みに実施。

新 ユニバーサルトイレを設置

災害時の避難所にも指定されている全ての学校校舎に高齢者や障害者の方が利用しやすいユニバーサルトイレ(多目的トイレ)を設置。

子ども医療費の適用範囲を拡大

小学校入学から中学校卒業までの就学児への医療費助成を、平成25年10月より、「入院」に加え「通院」にも適用範囲を拡大。

その他

新 「子ども・子育て支援事業計画」を策定

幼児期の学校教育・保育など、地域の子育ての一層の充実を図るため、ニーズ調査を基に、子ども・子育て会議において「提供体制の確保」「実施時期」などを盛り込んだ計画を策定。

新 教育ビジョンの策定

将来の王寺町を担う子どもたちが、未来に向かって健やかに成長していくよう、確かな学力、豊かな心、たくましい体をバランスよく育てることを目標に「教育ビジョン」を策定。

新 「老人・こども110番の家」の旗を更新

老朽化と設置世帯の状況変化に対応するため、地域の自治会長にご協力いただきながら、老人や子どもを事件・事故から守るための目印「老人・こども110番の家」の旗を更新・再設置。

王寺町の高齢者福祉施策

高齢者福祉

介護

新 第6期介護保険事業計画を策定
介護保険の円滑な運営に向けて、「高齢者福祉ハートフルビジョン研究会」などの将来推計結果を踏まえ、介護保険拠点施設の整備を含めた事業計画を策定。

新 地域福祉計画を策定
住民やボランティア団体など、地域福祉のさまざまな担い手の参画のもと、地域課題解決の仕組みづくりなどを定めた「王寺町地域福祉計画」を策定。

高齢者ハートフルビジョン研究事業
特別養護老人ホームなどの拠点施設の設置や24時間の在宅介護サービスなど、高齢者にやさしく王寺町にふさわしい福祉施策を研究。

認知症対策

認知症の早期発見・早期対応
優先度の高い高齢者世帯への訪問、また、月1回福祉介護課で実施している認知症相談に加え、2ヶ月に1回社会福祉協議会による介護(認知症)予防相談窓口を平成25年10月より開設。

新 認知症施策の推進
より認知症への理解を深めるため、認知症の専門医による講演会を開催。

外出支援

やわらぎの手帳優遇措置事業

優待乗車バスカード【見直し】
【問題点】
・利用の上限がない。(最高で年間37万円を超える利用者がいた)
・上限を設けるためにはシステム変更に約3千万円の費用が必要。
これまで無料で利用制限のなかったバスカードに、利用者の一部負担(バス利用1回につき100円)を導入。

新 高齢者タクシー優待券
駅やバス停まで歩くことが困難な方など、きめ細やかな施策として、高齢者タクシー優待券8,000円(400円×20枚分)を導入。

JRの乗車カード(イコカ)【見直し】
【問題点】
・本人確認ができない。(本人以外の使用、他人への譲渡)
・コンビニや自動販売機で買い物ができる。(外出支援の目的から外れる)
これまで8,000円分支給していたイコカカードを、平成26年度は5,000円に減額。(平成27年度廃止予定)

福祉タクシー運賃補助【拡充】
要介護2以上の在宅の65歳以上の高齢者について、高齢者のみの世帯に限らず、在宅すべての方に対象範囲を拡大。

健康

新 「ぐるっと王寺」健康ウォークの実施
・「健康長寿奈良県一」をめざして、多くの方が「歩いて健康づくり」に取り組めるよう、6月より「ウォーキング実践教室」を開講。
・年1回、家族みんなで参加できる「ファミリーウォーク」を開催。
・保健センターにて毎週土曜日、健康チェック・生活習慣などを参考に、保健師・管理栄養士による相談が受けられる「てくてく健康チェックデー」を実施。(希望者には血液検査を実施。1,000円の負担で活動量計の支給)

新 奈良県健康ステーションを開設
地域交流センター内に、誰でも気軽に日常生活の中で健康づくりを実践できる拠点「奈良県健康ステーション」が9月にオープン。県と連携して健康づくりを支援。

その他

高齢者優待入浴補助事業【見直し】
昨年度までは全額公費負担であったが、今年度から入浴料1回420円のうち、100円の自己負担を導入。

敬老祝い金の一部廃止【見直し】
80歳を迎える高齢者への「敬老祝い金」1万円を廃止。なお、88歳の敬老祝い金、100歳祝い金については継続して実施。

入浴施設の利用について【見直し】
「老人福祉センター」「老人憩の家(片岡の家)」の浴場利用について、昨年度までは無料で利用できたが、利用1回約400円の経費がかかっており、今年度から100円の自己負担を導入。

緊急通報システムの事務改善【拡充】
見守りが困難なひとり暮らしの高齢者に対し、急病等に迅速かつ適切に対応するため、4月よりサービスを変更し、緊急通報だけでなく「生活相談」や「安否確認」などにも対応。(利用者負担なし)

新 「老人・こども110番の家」の旗を更新
「子ども・子育て」に記載のとおり。